

● 顕現後第二主日

泉のほとり

今月の詩編「第五十二編」

御名に望みをおきます

あなたの慈しみに生きる人に対して

恵み深いあなたの御名に。



説教する教会の誕生

ペンテコステの時期に、教会の塔に「若者は幻を見、老人は夢を見る」という垂れ幕を掲げます。すると、あれはおかしい、若者が夢で老人は幻だろうと言う人がいます。夢は若者のものだということです。

聖書では夢も幻も同じです。教会では若者も高齢者も夢や幻を見ます。夢や幻が教会を誕生させ、教会を支え続けるのです。

聖霊が降つて来られたときに、弟子たちは集まつて熱心に祈っていました。それでも彼らはまだ、ただの人の集まりで、教会ではありませんでした。神さまが土の塵で人の形を造り、それに命の息を吹き込んで生きるものとされたように、人の集まりに聖霊を吹き込んで、教会にされたのです。

そのとき、激しい風が吹いてきたような音がして、炎のような舌が分かれ分かれに現れ、弟子たちの上に留まりました。舌は言葉の象徴です。聖霊は弟子たち一人一人に語る言葉を与えられたのです。すると彼らはいろいろな国の言葉で神さまの偉大な業を語り始めました。

いろいろな言語を語ったことが重要なではありません。一つのことを、すなわち神さまの偉大な救いの業を語ったことが重要です。そして彼らを代表して、ペトロが集まつて来た人々に説教をしました。

ペトロは漁師です。大勢の人に話す経験も技術もなかったでしょう。全くの素人が大群衆に向かって堂々と説教をしました。確信があつたからです。これまで聞いてきた聖書の話と主イエスの言葉の全体がわかつたという確信です。聖霊がすべてを教えてくださったのです。ここに教会が

誕生しました。教会の誕生は、ただおぎやーと生まれたのではなく、この世に対して、神さまの救いを説教し始めたことです。

これは二千年前に起こったことですが、今のわたしたちに深い関係があります。神さまが「終わりの時にわたしの霊を全ての人に注ぐ」と言われるからです。そうすると息子や娘が預言し、若者が幻を見、老人が夢を見るのです。あらゆる年代の人がそうなるのです。夢や幻で神さまの御心を知るのは預言者です。わたしたち皆が、預言者になると神さまは言われるのです。

一〇年ほど前にある教会に招かれて説教と講演をしました。その演題は「二人一人が伝道者、説教者」です。それがその教会の全体課題でした。教会員全員が伝道者や、説教者になるなど、大それたことだと考えるかも知れません。でもそれは、教会が教会である以上、当然のことなのです。

教会の中でよく証しがなされます。自分がどういう経過を辿つて主イエスを信じるようになったのか。どういう出来事を体験したのか。どういう御言葉に生かされているのか。どういう喜びや慰めを与えられているのか。そういう証しを聞いて、信仰に導かれる人は少なくありません。証しは説教の中心にあるものです。ペンテコステの時に、聖霊によつて教会は説教する群れとして誕生しました。語る言葉は違つても、同じ神さまの救いを語ります。ひとりひとりが、その教会を形成する大事な証し人なのです。

2025年度

教会全体課題

聖書の御言葉に生きる。

わたしたちのヴィジョン

主イエスの愛の中で、

愛と交わりを通して

お互いに成長する教会

《今日のお知らせ》

○ 礼拝後、定例役員会をカナルルームで行います。
役員の方はお集まりください。

○ イースターに受洗、転入会をご希望の方は、二月八日(日)までに牧師宛願書をご提出下さい。
願書は事務所にあります。

○ 本日、吉村和雄名誉牧師は日本基督教団遠州教会で説教と講演の奉仕のため不在です。

《ぶどうの会より》

本日、ぶどうの会はを第二・三シオンルームで行います。

《ロビーの会より》

本日の礼拝後、ロビーでコーホーサービスを行います。ホットコーヒーとお菓子を七〇円で販売します。どうぞお越しください。

《ルツの会より》

本日の礼拝後、地下ホールでルツの会を行います。民数記一六章から学びます。聖書、讃美歌をお持ちの上、ご参加ください。

《シオンの会より》

一月二二日(水) 一〇時三〇分～一二時シオンの会を第二第三シオンルームで行います。(オンラインも併用します。)

テキスト「使徒言行録を読もう」P.六七
八人間の壁を超える福音 (八章一節b～二五節)を読みます。新しく参加をご希望の方は川越啓子姉までご連絡ください。

《交 読 詩 篇》

※会衆は太字の箇所を唱和します。

〔司・会〕の箇所は司式者と会衆が合わせて唱和します。

【詩篇五十二篇】指揮者によって。マスキール。

ダビデの詩。エドム人ドエグがサウルのもとに来て、「ダビデがアヒメレクの家に来た」と告げたとき。

力ある者よ、なぜ悪事を誇るのか。

神の慈しみの絶えることはないが

お前の考えることは破滅をもたらす。

舌は刃物のように鋭く、人を欺く。

お前は善よりも悪を

正しい言葉よりもうそを好み

人を破滅に落とす言葉、欺く舌を好む。

神はお前を打ち倒し、永久に滅ぼされる。

お前を天幕から引き抜き

命ある者の地から根こそぎにされる。

これを見て、神に従う人は神を畏れる。

彼らはこの男を笑って言う。

「見よ、この男は神を力と頼まず

自分の莫大な富に依り頼み

自分を滅ぼすものを力と頼んでいた。」

わたしは生い茂るオリーブの木。

神の家にとどまります。

世々限りなく、神の慈しみに依り頼みます。

あなたが計らってくださいますから

とこしえに、感謝をささげます。

〔司・会〕

御名に望みをおきます

あなたの慈しみに生きる人に対して恵み深い

あなたの御名に。

《今日の子ども礼拝》

●子ども礼拝（午前9時20分・地下ホール）

説教 「人を思う誠実さに生きよう」

聖書 エステル記4章5〜17節

説教者 黄允湜牧師

《次週の礼拝》

●子ども礼拝（午前9時20分・地下ホール）

説教 「神さまがイスラエルを救われる」

聖書 エステル記5章1〜14節

説教者 吉村和雄名誉牧師

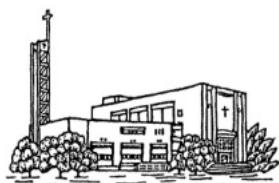
●主日礼拝（午前10時30分・礼拝堂）

讃美歌 80番 79番

説教 「ほかの神があつてはならない」

聖書 出エジプト20章1〜3節

説教者 黄允湜牧師





主日礼拝 (午前10時30分)

讃美歌 19番 246番
説教 「天からの光が」
聖書 使徒9章1～19a節(新約 P.229)
司式 石川 一 兄
聖餐司式 黄 允湜 牧師
説教者 宮間 彰広 兄

前奏曲「トッカータとフーガ ヘ長調」D.7 クスナー

○讃美歌19番

1. みこえきくとて みまえにつどいぬ
あまつみおしえ ゆかたにたまえや
こころもわが主と ひとつに合うまで
2. 知恵とさとりは くらぎにとざされ
みたまのちから うくるによしなし
わが主よ みひかり とく照らしたまえ
3. さかえの主なる ひかりのひかりよ
われらのくちと こころをひらきて
いのりとほめうた ささげしめたまえ
アーメン

○聖歌隊による讃美

「主にうたえ」 DAVE and JEAN PERRY作曲

ハレルヤ ハレルヤ
ハレルヤ ハレルヤ
歌え神に 諸人よハレルヤ
歌え神に 諸人よハレルヤ
歌え讃えよ 神に
歌い讃えよ 神に
歌え神に 諸人よハレルヤ
歌え神に 諸人ハレルヤ
新しき歌を 喜びて歌え主に
新しき歌を ハレルヤほめ歌
歌え讃えよ 神に
歌えほめ歌え 神に
歌え神に 諸人よハレルヤ
歌え神に 諸人ハレルヤ
歌え神に 歌え ハレルヤ

○讃美歌246番

1. かみのめぐみは かぎりなくとも
ゆるさるべきか このつみびとは
2. みいつをなみし みわざをあざみ
ながくめぐみに そむきまつりぬ
3. 「いかですつべき まどわで来よ」と
み手をひろげて 主は待ちたもう
4. 主のあわれみの なみだにやどる
父のみかみの めぐみはつきず
アーメン

聖餐曲「我ら悩みの極みにありて」 J. バッハ

後奏曲「イエス君はいとうるわし」 D. ヴット

※礼拝のしおりと讃美歌をお持ちください。